



白陵会事務局 〒676-0827 高砂市阿弥陀町阿弥陀2260(白陵高等学校内) TEL.079(447)1675(代) FAX.079(447)1677
URL:http://www.hakuryokai.jp E-mail:info@hakuryokai.jp



会長 沼田 好道

いあいけん

会員の皆様方におかれましては、いよいよ健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は、同窓会活動に格別のお力添えを賜り心より厚く御礼申し上げます。

さて、昨年完成した新校舎では、今春入学の新入生も加わり、毎日活気に溢れた教育活動が展開されています。新たに改修された理科室棟も加わった新校舎施設は、緑豊かな周囲の自然とも見事に調和し、まさに「教育の殿堂」と呼ぶに相応しいキャンパスアメニティとなつていきます。私も、生徒たちの湧刺とした声をごたます白陵の森を訪れる度に、旧校舎への郷愁を懐きながらも、新しい校舎での在校生諸君の活躍に大きく期待を膨らませております。

また、五月に大流行した新型インフルエンザでは、学校での集団感染を防止するために兵庫・大阪では一斉臨時休校措置がとられるなど教育現場にも大混乱を巻き起こしましたが、白陵では、三木理事長・吉田校長を中心に冷静かつ慎重に対処され、六月には高二・三英国修学旅行も予定通り無事に実施されました。こんな最中の六月十四日、大変嬉しいニュースが飛び込

堂々の新校舎
母校に栄えあれ



校舎建替寄付金募集
郵便振替用紙同封

平成21年版白陵会名簿 12月発刊予定

現在、平成21年版白陵会名簿作成を、前回と同じく、データ整備専門会社の(株)サルトに委託して準備を進めております。

最近、個人情報保護法の施行に伴い、ややもすると名簿作成に慎重な声も聞かれますが、白陵会では、同窓会活動を今後更に充実させ、発展させていくためには、会員相互の親睦を深めることが大切であり、そのためには同窓会名簿は不可欠のものであると考えております。

会員数も1期生から44期生まで7513名を数え、日本各地や遠く海外でも活躍されています。現在、調査カードを基に鋭意整理中ですが、約20%の方が連絡先不明であるため、各期の役員を中心に追跡調査を行い、提供された情報に基づいて再度ご本人に連絡をとり確認しながら作業を進めております。会員の皆様方におかれましては、なにとぞご理解賜り、今回の名簿発行に倍旧のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

転居された場合は、必ず白陵会事務局までご連絡くださいますようお願いいたします。

お問い合わせ先
〒670-0948
兵庫県姫路市北条宮の町172

株式会社サルト内
白陵高等学校同窓会白陵会名簿編集係
受付専用電話(通話料無料)
0120-9371614

受付時間(土・日・祝日除く)
9時30分～16時
受付No.91201

校舎建替寄付金応募状況

平成18年10月～平成21年5月

期生	応募額(円)	期生	応募額(円)
1	370,000	23	120,000
2	1,640,000	24	100,000
3	900,000	25	310,000
4	160,000	26	70,000
5	460,000	27	80,000
6	485,000	28	60,000
7	180,000	29	180,000
8	150,000	30	65,000
9	470,000	31	235,000
10	428,000	32	120,000
11	1,150,000	33	130,000
12	550,000	34	210,000
13	430,000	35	100,000
14	225,000	36	80,000
15	750,000	37	125,000
16	50,000	38	30,000
17	280,000	39	130,000
18	265,000	40	115,000
19	265,000	41	110,000
20	260,000	42	150,000
21	250,000	43	30,000
22	50,000	合計	12,318,000

母校飛翔の礎となる新校舎建築に
今こそ同窓生は熱いご支援を

校舎建替 寄付金募集要項

本寄付金募集は、白陵会が白陵会員を対象として行います。

目標額 5千万円

募 金 1口1万円

なるべく複数口のご協力をお願いします。

ただし、1口未満でもありがたくお受けします。

申込方法 同封の郵便払込取扱票によりお払い込みください。

口座番号：神戸01160-9-45040

加入者名：白陵同窓会

※領収書は郵便局の郵便払込金受領書をもってかえさせていただきますのでご了承ください。

※この寄付金は減税措置を受けることができます。

個人がその年に支出した寄付金の額が5千円を超える場合には、その超えた金額について、その年の課税所得金額から控除されます。但し、寄付金額が年間所得の40%を上回る場合は40%が限度となります。

寄付金控除額=寄付金額-5千円

減税措置を受ける手続きは寄付された翌年の確定申告で行いますが、その際、領収書及び特定公益増進法人であることの証明書(写)が必要です。この証明書写が必要な方は郵便局払込取扱票の通信欄に証明書必要とお書き添えください。



理事長 三木 一 正

夢を形に

ご挨拶にかえて

「もう少し実力は出せたかも知れませんが、メダルがとれて嬉しい。」これは英国のケンブリッジで高校生を対象に開かれた第四十一回国際化学オリンピックに、日本代表四名のうち二人女性として参加、銅メダルを獲得した白陵三年生永澤彩さんの七月末帰国記者会見での第一声です。国内で行われた全国高校化学グランプリ(オリンピック予選)参加者二一〇五名のなかから選ばれたオリンピック代表候補二十二名(うち女性二名)が、さらに訓練合宿・最終選抜試験を経てやっと勝ちとった代表の栄冠でした。そのうえ最終候補のうちの女性一名は白陵生、永澤さんの他はなんと級友の安田真由美さんだったということからも現在の白陵女子生徒の実力が想像されるというものです。ところがその大会では涙をのんだ安田さんでしたが、別途チャレンジした第五回全国物理コンテスト(物理チャレンジ・オリンピック日本委員会)においてはこの八月銀賞に入賞、同時に筑波大学賞を受賞しました。

こう書いてくると同窓会の皆さま

んの反応も様々まで、受けとり方も一期生(一九六六年卒)と今卒業の四十四期生(二〇〇九年卒)との四十三歳の年齢差を考えると、その間の社会の変遷により評価の基準が必ずしも一致してはいないと思われませんが、白陵の教育の成果はいろいろな形で出てきているのも事実です。

一方、去る六月に行われた千葉市長選では翌日の新聞には大きく、「全国最年少三十二歳熊谷氏当選」の文字が躍りましたが、何とその人物こそ本校の三十一期生熊谷俊人氏なのです。思えば十九期生の北口寛人氏が明石市長に初当選したのが六年前三十七歳の時でした。希わくば、白陵の同窓生として機会があればぜひ、対談なり、講演会の形で後輩の生徒たちに話しかけてやってもいいものだと思います。

白陵における教育現場は常に社会の現状におもねることなく大きな人間創りを目指しています。時に流されることなく「変化に強い力」をこどもたちにつけ、更に「夢を形に」変える努力を教えるべく職員一丸となって頑張っているところです。

最後になりましたが、卒業生諸兄姉の更なるご健勝とご活躍を祈念するとともに、変わらぬご支援ご鞭撻の程お願い申し上げます。



校長 吉田 卓

白陵生全員の成果

同窓会の皆様のご記憶どおりなら、セミの大合唱に負けまいとつい大いなる夏の補習授業も、梅雨明けの遅れている今年は少し様変わりです。

平成二十一年大学入試の結果では、国立公立大学への現役合格者が68.6%、国立公立医学部医学科合格者が34名という大きな成果を得ることができましたが、東大合格者の数では悔しさが残り、来年度入試へ向けて大きな宿題を残しています。高3学年団を先頭に、教員一同緊張した毎日を送っているところです。意気込み新たに発進した二学期でしたが、ご承知のとおり新型インフルエンザ問題のため白陵の教育計画は極めて苦しい変更を強いられました。

少し過剰気味に新型インフルエンザの報道が始まると、早々と修学旅行の中止・延期を決める学校があらわれました。一ヶ月後に高2の英国修学旅行が予定されていた本校は、中止・延期の可能性も視野に入れながら判断の機会を見ていました。新型インフルエンザに対する見方が落ち着き、感染の広がりが小康状態を見せた時、ゴサインを出すことができました。休校明けから三週間、全校生、

全教職員が一丸となって健康管理に努め、新型インフルエンザにうつらない、うつさないを課題に、英国修学旅行出発を後押ししてくれました。キャセイ機が関空を離陸した時は、私を含め旅行団全員が安堵し、皆の後押しを強く感じた瞬間でした。

国情の異なる英国での感染予防は困難もありましたが、予防のためのうがい・手洗いに心掛けるなど、緊張した自己管理の結果、旅行中も帰国後も高校2年生から感染者を出さなかつたことは、高2を中心としそれをサポートした白陵生全員が為し遂げた成果といえます。

その後六月下旬、高1にインフルエンザ感染者があらわれ、若干の校内感染が確認されました。二週間後に学年末考査を控えたこの時期、県教委が提示した学級閉鎖などの基準に達していない状況で早めの学年閉鎖を決定し、その後の広がりに応じて早め早めの休校等の措置をとった結果、感染拡大を最小限に止め、期末考査もわずかの変更のみで実施することができました。

約三ヶ月にわたる今回の騒ぎを振り返ってみると、全校生と全教職員が一つの課題に向って力を合わせた時、困難を乗り越える力が生み出されることを実感できました。同窓会の皆様、予想される新型インフルエンザの再流行に対する十分な備えと、経済不況というもつと巨大な嵐に対する備えを怠りなく、一層のご隆盛をお祈り申し上げます。

白陵軍団全員集合(17)

首都圏で活躍中の田代裕氏(6期)、飯島義雄氏(13期)、仲嶋克彦氏(20期)が、「東京兵庫県人会会報・ふるさとひょうご102号(平成20年7月発行)」で、在学中の思い出を語り合わせた内容を転載します。

注:仲嶋克彦氏は平成21年3月、東京・練馬区で、ねりま光法律事務所を開設されました。

ふるさと ひょうご てい談 われら同窓生

目指すことの実現のために自ら考え、生きる力を養うとともに高い倫理感を持った人間に!

田代 裕さん

教養や自ら律する力を身につけ、校歌のように二十一世紀をリードし未来に届く狼煙に!

飯島義雄さん

中高時代の友人は大人になっても貴重な財産。白陵の伝統である団結力をずっと大切に!

仲嶋克彦さん

私立白陵高校は一九六三(昭和三十八)年、創立者の三木省吾氏(故人)が、現在の高砂市阿弥陀町に中高一貫教育を柱とする学校法人三木学園白陵中学校・白陵高校として開校した。創立の主旨を責任感と勇猛心ある人材の基礎を培うこととし、校訓に「研究と訓練、独立不羈、正明闊達」を掲げる。校章は旧制姫路高校(五〇年(昭和二十五)年廃止)のものを継承。校名も旧制姫路高校の寄宿舎「白陵寮」に由来する。開校当初、中学は男子校、高校は男女共学校だったが、九八(平成十)年に中学も男女共学校に移行。生徒数は高校が五百六十五人、中学は四百七十五人。毎年、東京大や京都大のほか、全国の大学医学部に多くの合格者を出す県内有数の進学校として知られる。今回の「われら同窓生」は首都圏で活躍する卒業生三人に思い出などを語ってもらった。

——当時の学校の風景はどんなでしたか。

田代 高台にある瀟洒な校舎に時計台があり、小学生のころは、白陵を国道2号線から見上げてきれいな学校だなどあこがれてきました。毎朝、ギリギリに家を出て、遅

刻だと思いつながら自転車こいで校舎まで行く。坂の下にあった自転車置き場に自転車をとめて、二、三百メートルの坂を駆け上がっていました。

赤いトンガリ屋根のあるきれいな建物をよく覚えています。お腹がすく世代です。お昼になるとすぐにそのトンガリ屋根に行きましたね。特に中華そばが好きで、中に入っていた焼き豚の味が忘れられませんでした。創設者の三木省吾園長先生もあの建物から自慢にされていました。ほかにも定食やカレーライスもあって、今食べればどう感じるかは分かりませんが、当時はおいしくおいしく。

仲嶋 私は中学入学から高校一年までの四年間、寮にいました。寮では半年ごとに部屋換えがあったんじゃないかな。高校三年生だけは部屋が一カ所にかたまっています。み合せて、中一・高二まではごちゃ混ぜの組み合せて寮生活は百人くらいでした。私は高校生になり親元を離れて、おつきなみみたいな先輩の先輩がすごく大きく見えました。勉強は教えるもなかったというところでもないです。

印象に残る出来事を聞かせてください。田代 体育祭で中学、高校ともクラスごとに応援のための大きなモニユメントをつくったことが印象に残っています。一週間以上前から放課後になると、近所の家を回って、竹を分けてもらいます。スパーにも行って、段ボールをもらって、竹と一緒に自転車に積んで帰るんです。そのクラスのクラスも高き三、四メートルで、私のクラスは旗のようなものをつくったぐらいでしたが、学校創設者の三木省吾理事長をデフォルメした像をつくったクラスがあって、みんなで大笑いしたことを覚えています。体育祭が終わると、どのクラスもモニユメントを運動場の一角に運んで、キャンブフアンアイをして歌ったり、踊ったり。日頃は地味でまじめな学校なんですけど、あのときは燃え上る火の前で、体育祭の高揚感もあって、一種独特な盛り上がりがありましたね。

飯島 体育祭の雰囲気は私のときも変わらなかつたですね。私は走るのが好きで陸上部で長距離をやりました。練習は放課後、広い校内で、二レの並木を駆け抜けて、春はウグイス、夏はセミの声を聞きながら、緑が多くてさわやかな気持ちになったものです。毎年冬に校内マラソン大会があって、学校の外に出て、田んぼの中を走ると、高校生のときに十キロくらい走りました。高校二年生のときに二番になったのはうれしかったです。運動はからっきし駄目だったんですが、毎日、朝夕に姫路の書きの自宅から十キロ以上を自転車で通ったのが、いい訓練になったんですよ。

仲嶋 僕たちのときに体育祭で使った竹は、校内の竹藪から切り出しましたね。でも、白陵といえは、三木省吾園長先生ですが、高2のときに亡くなられたんですが、印象があまりにも強烈で、ほかのことまで忘れてしまつたように強く、高2にあつた方でした。学園長なんですけど、中高全学年の英語の授業を担当されました。教科書

新校舎点描

新校舎全景



旧校舎よりも広く、明るくなり、ゆったりとした快適な空間に生まれ変わりました。

三角公園 (春暉)



シェルピンスキー四面体をモチーフにしたステンレス製のモニュメント(春暉)が周囲と調和しています。

理科棟



第3校舎(大教室・社会科教室・生物室・会議室)が改修され、昨年11月に理科棟(化学室・物理室・理科実習室・生物室)としてリニューアルされました。

校舎新築記念講演会 (H20.10.23)

アテネ五輪シンクロナイズドスイミング銀メダリストの武田美保氏による講演会



演題「夢を追いかけて」

コモンスペース



高校校舎と中学校舎の間にできた広い空間、憩いの場として生徒達に利用されています。

三角公園 (兎)



飛び跳ねる5羽の兎のブロンズ像は「せんとくん」の生みの親である藪内佐斗司氏の作品です。

理科実習室



化学室・物理室・生物室以外に、理科で多目的に利用するための特別教室です。

校舎新築記念演奏会 (H20.11.5)

大阪フィルハーモニー交響楽団による演奏会



祝校舎新築竣工記念



仲嶋 克彦さん
(なかしま・かつひこ)

昭和41年、三木市生まれ。昭和60年卒。平成元年、東京大学法学部卒業後、東京都で弁護士登録。都内の弁護士事務所を経て、現在、東京・新宿の麻生総合法律事務所勤務。東京都練馬区在住。



飯島 義雄さん
(いいじま・よしお)

昭和34年、姫路市生まれ。昭和53年卒。58年、東京大学経済学部卒業後、自治省入省。和歌山や鳥根などで勤務した後、福井県副知事などを経て、現在、総務省消防庁防災課長。千葉県浦安市在住。

田代 確かに、怖いといえば怖かった。でも、面白いところもありましたね。園長先生をデフォルメした像をつくったのも許してくれましたし、体育祭の借り物競走でも、お題に「三木先生のズボン」というのがあったりして、みんなが一斉に三木先生のところに駆け集まって、あつという間にステテコ姿になったりね。

飯島 三木省吾園長先生のエピソードはまだまだありますね。

田代 私のころから、トマス・ハーデーの原書を読んできました。日本語訳が出てないようなものが教材でした。田舎のまちを暗い感じで歩くような決して明るくはない風景描写で始まるんです。高校生で読んで機微とかが分からないと難しい内容だったかもしれないですね。

仲嶋 私にとっては、教材になっていた原書の日本語訳が出たんですよ。でも、訳本は意識で、それぞれの文章の意味はだいたい違っていて、結局自分たちで訳さないといけません。内容はよく分かってなかったですが、中学の最初のころは、原書とは別の教科書とくく丸暗記させられました。その教科書も結構古いもので、いきなり三木省吾(軍人)なんていう単語が出てくるほどで。

飯島 運命主義的な話で、トマス・ハーデーの小説は内容が難しいんです。高校三年の受験直前でも原書を読まされたんですけど、まったく受験には役に立たないんですけど、園長先生が英文学やトマス・ハーデーの奥深さとかを語られる訳ですよ。み

田代 私は校則や勉強も厳しかったんですが、若干不自由な生活の中で、何となくこうなったらいいなと思う。その実現のために、どうすればいいかと色々考えたんですが、しんどい目にも遭いましたが、生

飯島 ドイツ語は中学校のときからありましたね。あれも受験には何の役にも立たなかった。園長先生は五十二歳で亡くなられたので、人生を駆け抜けていかれた。理想の学校をつくるという思いで、厳しかった反面で教養をものすごく大切にされ、人並みでははかれないエネルギーが学校には満ちあふれていましたね。

田代 三木先生はおまえらは勉強をせねばいかなのだとおっしゃっておられましたが、色んな教養を身につけると。高校二年のとき、突然「これからドイツ語を始めよう」と、旧制高校のドイツ語の教科書を持ち出されたこともありました。プレッシャーを手にドイツのリートを聴かせてやると言っていました。

飯島 三木先生は、ベンチャーです。園長先生の日本の学校をつくらうという創業期の理想のエネルギーが、校内に満ちあふれていました。旧制姫路高校や英国のパブリックスクールを理想に、教養は大切だと思っておられたと思う。社会人になっても、原書を読まれたことも人生の羅針盤みたいなものになったと思う。僕らに口移して教えたようにして、振り返ると、若いときに楽しさを我慢して、勉強に打ち込む時代があつてもいいんじゃないかと思えます。今、日本の教育問題がいわれませんが、自ら律することを教わり、人生の大きな資産になっていきます。

田代 三木先生は、ベンチャーです。園長先生の日本の学校をつくらうという創業期の理想のエネルギーが、校内に満ちあふれていました。旧制姫路高校や英国のパブリックスクールを理想に、教養は大切だと思っておられたと思う。社会人になっても、原書を読まれたことも人生の羅針盤みたいなものになったと思う。僕らに口移して教えたようにして、振り返ると、若いときに楽しさを我慢して、勉強に打ち込む時代があつてもいいんじゃないかと思えます。今、日本の教育問題がいわれませんが、自ら律することを教わり、人生の大きな資産になっていきます。

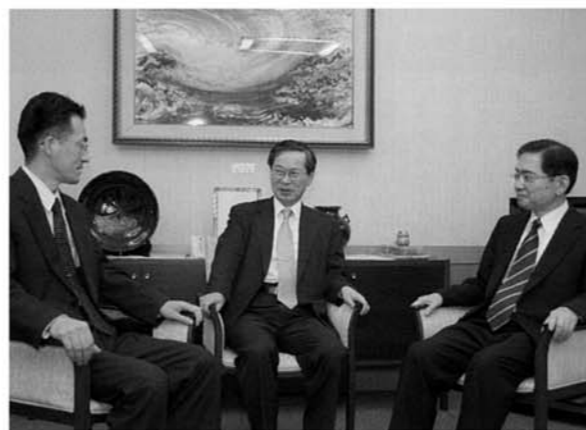
に英国人作家トマス・ハーデーの小説の原書を使うんです。中学生のころから一人一冊ずつ持たされて、読んでいきました。園長先生の授業は大教室に一年生全三クラス(高校は五クラス)の生徒が集まって受けるんです。生徒が順に読んでいくんですが、誰かあたるか分からない。園長先生は怖くて緊張して受けてました。園長先生という木の棒を持って授業を回っておられて、クラスが悪いと尻や頭を叩かれます。全員の順番に頭を叩かれました。それが、飯島 毎回、小テストがあつて、それが及第しなければ愛のムチの洗礼がとんできましたよ。

田代 確かに、怖いといえば怖かった。でも、面白いところもありましたね。園長先生をデフォルメした像をつくったのも許してくれましたし、体育祭の借り物競走でも、お題に「三木先生のズボン」というのがあったりして、みんなが一斉に三木先生のところに駆け集まって、あつという間にステテコ姿になったりね。

飯島 三木省吾園長先生のエピソードはまだまだありますね。

田代 三木先生は、ベンチャーです。園長先生の日本の学校をつくらうという創業期の理想のエネルギーが、校内に満ちあふれていました。旧制姫路高校や英国のパブリックスクールを理想に、教養は大切だと思っておられたと思う。社会人になっても、原書を読まれたことも人生の羅針盤みたいなものになったと思う。僕らに口移して教えたようにして、振り返ると、若いときに楽しさを我慢して、勉強に打ち込む時代があつてもいいんじゃないかと思えます。今、日本の教育問題がいわれませんが、自ら律することを教わり、人生の大きな資産になっていきます。

飯島 三木先生は、ベンチャーです。園長先生の日本の学校をつくらうという創業期の理想のエネルギーが、校内に満ちあふれていました。旧制姫路高校や英国のパブリックスクールを理想に、教養は大切だと思っておられたと思う。社会人になっても、原書を読まれたことも人生の羅針盤みたいなものになったと思う。僕らに口移して教えたようにして、振り返ると、若いときに楽しさを我慢して、勉強に打ち込む時代があつてもいいんじゃないかと思えます。今、日本の教育問題がいわれませんが、自ら律することを教わり、人生の大きな資産になっていきます。



飯島 今、大空に狼煙立つ 未来に届く狼煙立つ。白陵の校歌の一節ですが、歌詞も素晴らしい名曲だと思います。社会人になって壁にぶち当たったときにもこの一節は口から付いて出るくらい好きです。今、日本は大きな曲がり角に立っていて、少子高齢化、グローバル化でこれまでの基準や価値観では測りきれないものがある。創設者の園長先生の教養や自ら律する力をしっかりと身に付けていただき、校歌のように、二十一世紀をリードし未来に届く狼煙になつていただきたい。

仲嶋 三年間、六年間は貴重な時間ですね。若い力で生かす力がないというのはいまにも居心地がいい所にいすぎるとはたかさんでしょうか。社会人になるともっとたくさんしんどいことはありますからね。最近、金がすべてではない風潮があり自由が、倫理がその前だという風潮があります。た人間になつてほしい。

飯島 三年間、六年間は貴重な時間ですね。若い力を生かす力がないというのはいまにも居心地がいい所にいすぎるとはたかさんでしょうか。社会人になるともっとたくさんしんどいことはありますからね。最近、金がすべてではない風潮があり自由が、倫理がその前だという風潮があります。た人間になつてほしい。

平成21年 大学入試合格者数

国公立大学						
大学名	16年	17年	18年	19年	20年	21年
東京大	32	21	24	24	19	19
京都大	24	14	22	18	15	17
大阪大	28	14	8	12	25	29
神戸大	21	21	14	15	19	24
北海道大	6	4	5	5	7	3
東北大	2	1			2	
一橋大	5	4	6	8	3	
筑波大	1	2	1	2	1	
横浜国立大	2		5	3	1	1
名古屋大	2	2		1	3	
岡山大	18	7	4	7	6	5
広島大	2	4	1	3	3	5
九州大	1			1	1	5
大阪市立大	4		3	4	3	7
大阪府立大	9	4	6	3	9	3
その他	61	48	46	58	44	67
合格者計	218	146	145	164	161	185
(内医学部医学科)	(42)	(37)	(32)	(40)	(25)	(34)

私立大学						
大学名	16年	17年	18年	19年	20年	21年
早稲田大	33	22	21	31	38	20
慶應義塾大	42	21	13	25	31	24
上智大	1	1	1	2	8	1
中央大	16	8	7	7	12	10
東京理科大	9	4	13	8	3	3
関西学院大	30	23	27	19	29	16
関西大	16	9	15	5	9	5
同志社大	23	12	20	30	34	19
立命館大	38	27	34	31	28	24
近畿大	4	2	7	7	4	4
大阪医科大	2	3	4	4	4	8
兵庫医科大	2	3	7	3	7	8
京都薬科大	2	4	6	3	5	4
神戸薬科大	6	10	7	9	5	4
その他	48	47	54	41	41	69
合格者計	272	196	236	225	258	219
(内医学部医学科)	(10)	(18)	(23)	(11)	(26)	(38)
卒業生数	184	176	174	171	181	191

国公立大学集計に準大学を含む

白陵会役員名簿

役名	期	氏名	役名	期	氏名	役名	期	氏名
会長	3	沼田好道	常任幹事(総務)	18	秋田直樹	常任幹事(総務)	38	堀素史
副会長	2	湖中明憲	"(総務)	19	牛尾英樹	"(総務)	39	猪股久美子
"	3	天野泰文	"(総務)	21	河合恵介	"(総務)	39	根木厚
"	6	上田喜裕	"(総務)	22	新田智弘	"(総務)	40	赤澤剛
理事(研レ委員長)	3	神吉裕資	"(総務)	22	野津康弘	"(総務)	40	山本祥子
"(研レ副委員長)	4	森崎晴知	"(広報)	23	三木健史	"(総務)	41	山本梨加
"(研レ)	5	橋本義仁	"(総務)	23	中里寛	"(総務)	41	脇田直人
"(総務)	9	村角伸一	"(総務)	24	奥本光廣	"(総務)	42	賀川拓哉
"(総務)	10	吉田達哉	"(総務)	24	藤原省悟	"(HP)	42	宮崎はる香
"(広報委員長)	10	下村康夫	"(総務)	25	多根正明	"(総務)	43	片岡寿平
"(広報副委員長)	11	志方正彦	"(HP)	26	大西康記	"(総務)	43	野瀬彩弥
"(校内幹事総)	11	宮崎陽太郎	"(総務)	27	山田将義	"(総務)	44	立田裕昌
"(HP委員長)	19	尾上尚樹	"(総務)	28	柿本晴彦	"(総務)	44	三木綾子
"(総務)	20	石井秀武	"(総務)	28	松本守弘	校内幹事(広報)	1	芳木健博
"(会計)	10	加藤雅宣	"(HP)	29	岡田康裕	"(総務)	2	大内義雄
書記(総務)	17	岡野清和	"(総務)	29	浜田賢太郎	"(総務)	3	長濱憲洋
会計監査(研レ)	6	大崎章快	"(総務)	30	上新貴弘	"(総務)	3	黒田洋和
"(広報)	15	町田直隆	"(総務)	31	酒井雅史	"(総務)	4	原田正昌
常任幹事(広報)	1	伊藤達也	"(総務)	31	木下智晴	"(総務)	6	福井孝昌
"(総務)	1	芝本真須美	"(総務)	31	村山稔	"(総務)	11	小紫一貴
"(総務)	1	武田久美子	"(総務)	32	酒井勇人	"(総務)	12	畔上昇
"(総務)	1	正井和野	"(総務)	32	小澤有紀子	"(総務)	12	山口透
"(総務)	4	岸本和男	"(総務)	33	藤井拓郎	"(総務)	12	中村大吾
"(総務)	5	塩崎育男	"(総務)	33	北尾由美子	"(総務)	14	久保博彦
"(総務)	7	萩本義郎	"(総務)	34	八尾晋典	"(総務)	15	村上幸弘
"(総務)	8	山戸敏彦	"(総務)	34	牧野琢丸	"(広報)	15	西善
"(総務)	8	黒川仁	"(総務)	35	石川美帆	顧問(理事長)		三木一正
"(総務)	9	鄭幸男	"(総務)	35	阪本覚	"(校長)		吉田卓哉
"(研レ)	12	吉野太司	"(総務)	35	安田孝弘	"(副校長)		斎藤興文
"(総務)	13	水田堅	"(HP)	36	近藤理恵	"(教頭)	2	川副義寛
"(広報)	13	矢野善人	"(HP)	36	杉岡央基	"(前会長)	1	遠山康夫
"(総務)	14	片山安孝	"(総務)	37	伊賀真紀子	"(前会長)	1	黒坂芳一
"(総務)	14	竹中邦夫	"(HP)	37	亀山信生	"(前会長)	1	黒川
"(総務)	16	田中正一	"(総務)	38	上野紘之			

白陵温故知新

「白陵今昔物語」と題して、第6号(創立25周年)から第23号(創立40周年)までの過去17回にわたって母校の変遷を記録してきましたが、今号から新しく「白陵温故知新」シリーズを開始します。

第1回 「校章と制帽」



校章は語るに易く、制帽は語るに難し。前者には未来があるが後者には過去しかないからである。白陵は一九六三年に開校した。学問による人格形成という建学の精神は、大学入試成績で全国的に名を馳せることとなかなか両立しない。それでも理想に向かい確かな足取りをたどっていた一九八三年、舵取りのすべてを担っていた学園長がその疾風怒濤の人生を卒然と閉じた。白



三木学園理事
11期生・校内幹事
宮崎陽太郎

校章と制帽は旧制姫路高等学校からの継承である。姫高は一九二三年に設立され一九五〇年にその幕を閉じているので、制帽の使用された期間は白陵でのそれとほぼ同じく共に三〇年に満たなかったことになるが、そのあり方には少なからぬ違いがある。一方で弊衣破帽が形より内なるものを重視する代名詞とされ、制帽は彼らの情熱の発散と制御を担う重要なアイテムであったのに対し、他方では理想と現実の隔たりのなか、発散より制御においてその役割の多くを担うものとならざるを得なかったという点である。

寮生であった私は中学から高校に上がり制帽も一本の白線の入った高校生用のものとなったある日、帰省の途上にあつた。出石(現在は豊岡市)までの帰路は播但線からバスを乗り継いでの道程である。学

校から離れた解放感もあり、いつしか詰襟のホックははずれ制帽もバッグの中へ。家までもう少しとなった頃、バスは私一人を乗せて暗闇の田舎道を疾走する。爽快な気分と広い空間を占有する申し訳なさが交錯する。窓を見ると少し間の抜けた顔が映っていた。思わずホックを締め、バッグから制帽を取り出した。その時、やっと少し私はあるべき白陵生になったのである。

私たちの引き継いだ校章では大きく羽を広げた白鷺が金色の高の字を掲げ持つ。中学用には高の部分が「中」に代わる。制帽がなくなり接する機会は少なくなっても、校章の白鷺は更なる白陵の栄光を未来に向けて運び続けるはずである。



高3永澤彩さん
国際化学オリンピック銅メダル
 今年七月十八日から二十七日まで英国ケンブリッジ大学で開催された第四十二回国際化学オリンピックに、日本代表として高校3年生の永澤彩さんが出場しました。中学時代から化学部に所属し、五年前に同大会で銅メダルを獲得した神戸徹也君(40期生)に刺



顧問谷川先生(右)と永澤さん

平成二十二年一月二十一日(土)に東京新橋にて第二回東京白陵高校同窓会を開催しました。当日は第3期生から大学生まで幅広い世代の方々に参加いただき、なんと110名もの卒業生が参加する大きな同窓会となりました。さすがは東京という様々な職種の方々が集まりました。二月なのに会場が出席者の熱気であふれました。今回も白陵会、白陵高校からご出席いただきありがとうございます。今後も気軽に参加することができ、同窓生同士が世代や職種を超えて交流できる楽しい懇談の場としたいと考えています。

浅江季典前校長
瑞宝小綬章受章
 平成二十年秋の叙勲において、浅江季典前校長(現法人理事)が「瑞宝小綬章」受章の栄に浴されました。浅江先生は、昭和二十六年、社会科教員として就職に就かれ、兵庫県教委指導主事、飾磨工業高校長、兵庫県教委高校教育課長、西播磨教育事務所長、姫路西高校長を歴任された後、平成十年四月本校の第五代校長に着任されました。平成十六年三月退職後も引き続き法人理事として、指導を賜っており、地元の姫路市教育委員会教育委員長としても活躍中です。浅江前校長先生の長年にわたる中等教育の充実、発展に尽力された多大なご功績が栄えある受章につながったことは、白陵会にとりまして誠に誇らしい慶事であり、心よりお祝い申しあげ、今後ますますのご活躍をお祈りいたします。

東京白陵高校 同窓会(云便り)
第2回 東京白陵高校同窓会
 の開催について
 平成二十二年一月二十一日(土)に東京新橋にて第二回東京白陵高校同窓会を開催しました。当日は第3期生から大学生まで幅広い世代の方々に参加いただき、なんと110名もの卒業生が参加する大きな同窓会となりました。さすがは東京という様々な職種の方々が集まりました。二月なのに会場が出席者の熱気であふれました。今回も白陵会、白陵高校からご出席いただきありがとうございます。今後も気軽に参加することができ、同窓生同士が世代や職種を超えて交流できる楽しい懇談の場としたいと考えています。

白陵会News

平成20年度 収支決算報告書

平成20年4月1日～平成21年3月31日 単位/円

収入の部	予算額	決算額	差異
前年度繰越金	15,783,014	15,783,014	0
会費収入	2,850,000	2,865,000	△15,000
終身会費	2,850,000	2,865,000	△15,000
臨時会費	0	0	0
總會費	0	0	0
会費外収入	5,000	1,898,181	△1,893,181
名簿収入	0	3,800	△3,800
広告収入	0	0	0
利息収入	5,000	31,381	△26,381
雑収入	0	0	0
寄付金	0	1,863,000	△1,863,000
総会積立金繰入収入	0	0	0
合計	18,638,014	20,546,195	△1,908,181

平成20年度 会務報告

年月日	内容	年月日	内容
20.6.28	定例役員会	20.11.22	役員親睦旅行
20.7.1	校舎竣工記念式典	20.11.23	
20.8.23	広報委員会	21.2.11	44期生卒業式
20.10.15	理事会	21.2.21	第2東京白陵高校同窓会

支出の部	予算額	決算額	差異
事務費支出	125,000	42,785	82,215
消耗品費	20,000	0	20,000
印刷費	20,000	0	20,000
通信費	50,000	23,670	26,330
支払手数料	30,000	19,115	10,885
雑費	5,000	0	5,000
会議費支出	1,050,000	832,170	217,830
理事会費	200,000	54,980	145,020
役員会費	800,000	770,890	29,110
委員会費	50,000	6,300	43,700
事業費支出	2,560,000	1,498,335	1,061,665
總會費	0	0	0
会報発行費	850,000	774,254	75,746
ホームページ作成費	210,000	210,000	0
卒業記念品費	350,000	374,806	△24,806
慶弔費	1,150,000	139,275	1,010,725
備品費支出	0	0	0
OB会活動助成金	180,000	180,000	0
渉外費支出	50,000	30,000	20,000
予備費支出	500,000	0	500,000
寄付金	0	10,000,000	△10,000,000
小計	4,465,000	12,583,290	△8,118,290
総会積立金	200,000	200,000	0
次年度繰越金	13,973,014	7,762,905	6,210,109
合計	18,638,014	20,546,195	△1,908,181

熊谷俊人氏(31期生)、全国最年少で千葉市長に初当選
 6月14日投票の千葉市長選挙で、熊谷俊人氏(31歳)が見事初当選。全国最年少の現職市長となり、当選時の年齢では政令指定都市の市長としては歴代最年少。熊谷氏は奈良県天理市生まれ、神戸市須磨区の小学校から白陵中へ入学、白陵高31期生、早大卒、NTTコミュニケーションズ社員を経て民主党の公募に応じ2007年4月の千葉市議選で初当選、1期目の途中で市長選に出馬した。自身のホームページで白陵中高時代を振り返り、「当時は地獄でしたが、今思うと忍耐力と規律を守るといふ点で感謝」とコメント。

出版紹介
徳永光展氏(21期生)
福岡工業大学社会環境学部准教授・文学博士「夏目漱石の心」論 2008年3月、風間書房
 岡山白陵中高教諭を経て、現在、福岡工業大学で夏目漱石文学の研究を通して、日本語・日本文学の教育研究活動で国際的に活躍中の徳永光展氏渾身の力作。

人事新報社からのダイレクトメールや偽の問い合わせにはご注意ください。
 「白陵会名簿」は、名簿作成専門会社であるサウト(本社姫路市)と契約を結んで、名簿発行に係る調査・編集・印刷・発行データ管理を委託しております。これとは無関係の人事新報社という会社が卒業生宛に「白陵高等学校同窓名鑑」なるものの案内を再三にわたり往復ハガキで送りつけ混乱を巻き起こしたことがあり、白陵会ではこの会社に抗議すると共に、会員に注意を喚起しましたが、引き続きご注意ください。



白陵会物故者

元教頭 山本武夫先生
 平成二十二年二月二十日(土)の予定です。より広い所で開催したいと新たな会場を現在の検討中です。会の詳細は白陵会のホームページでご案内してゆきますので、是非ご参加ください。
 (開催に関する連絡先) 長澤 均(11期) hioshi-nagasawa@nifty.com

長谷川 洽先生(社会)
 平成二十年十月 逝去

藤井 壽先生(図書室)
 平成二十一年四月 逝去

八期生 黒川智裕氏
 平成二十一年三月 逝去
 心よりご冥福をお祈りします。

退職教職員紹介 平成21年3月

久留宮和俊先生(理科)	昭和41年4月	43年間
大森茂樹先生(理科)	昭和53年4月	31年間
北尾裕寿先生(理科)	平成5年4月	16年間
信太一郎先生(国語)	平成7年4月	14年間
山岡 晃先生(社会)	平成10年4月	11年間
桂 邦彦先生(英語)	平成20年4月	1年間

編集後記
 6月には、同窓生から2人目の市長が誕生しました。この会報が届く頃には衆院選の結果次第で政権交代?、同窓生初の国会議員誕生?、結果や如何にも、さて、卒業生の方の中にはいろいろな形でボランティア活動をされている方も多いと思いますが、編集子も地元自治会の役員を務めています。町内の様々なことを協議し、祭りやイベントでは裏方で汗を流しますが、少子高齢化が進む住民各位から協力を得ることの難しさを痛感する昨今です。白陵会においても執行部の高齢化が進んでいます。加えて、関東の大学への進学者増加に伴い、首都圏で活躍する会員はどんどん増えていくことが、地元兵庫の播州地域が空洞化しつつあります。地元で活躍されている若い会員の方はぜひお力を貸してください。12月に発行される白陵会名簿で会員各位の活躍ぶりを拝見できることを楽しみにしています。

第16回 りょうゆう会ゴルフコンペのご案内

例年多くの同窓生に参加いただき、盛大に開催しております。お誘い合わせのうえ、今年も多数のご参加をお待ちしております。

日時：平成21年11月3日(火)
 場所：福岡東洋ゴルフ倶楽部

申込み：昭和住宅(株)りょうゆう会係 FAX.079-425-7555

これまでの参加者には、後日ご案内を郵送させていただきます。また、白陵会ホームページにも詳細を掲載しております。

白陵会ホームページ
<http://www.hakuryokai.jp>
 会報のバックナンバーをご覧いただけます。クラブ活動やOB・OG会に関する最新情報も掲載しております。たまには、覗いてみてください。ご意見ご感想もお待ちしております。

Let's Access!!

